



九品寺の彼岸花 Ilford FP4+ 150^{mm} F45 1秒 SC-60 奈良県御所市

モノクロ写真との出会い

大阪府堺市在住 松本 憲治

私のモノクロ写真との出会いは、私が小学校低学年の1957年頃まで遡ります。

我が家では、休日に両親とともに動物園などに出かけるときには、いつも父が二眼レフのカメラで家族の写真を撮っていました。当時の私は小学校に通い始めた頃で、どんなことにも興味を示す子供で、父の二眼レフのファインダーに映る逆さの像に魅了され、時にはシャッターを押させて貰っていました。

小学校の3年か4年になった頃だと思うのですが、小学校の秋の遠足の前に父が「これなら子供でも写真が撮れるだろう」と言うこと

で、当時爆発的に売れてたらしい『フジペット』を買ってきました。



懐かしのフジペット

記憶のある方もおられるかと思いますが、このカメラは、初心者向けのブローニカメラ（6x6判）で、焦点距離75^{mm}の単眼レンズ、

シャッター速度は固定 (1/50秒)、絞りは3段階 (F11, 16, 22) でお天気マークでの設定も出来る子供にも使い易いカメラでした。春と秋の遠足には必ず持参し、それ以外も家族での行楽などの際に写真を撮っていました。ただフィルムの装填は小学生の低学年では少々難しく、遠足などで持っていく前日に父がフィルムを装填し、撮影後はフィルムを取り出して現像に出してくれると云う、なんとも贅沢な『アシスタント付きの写真家』のような撮影でした。ただ、12枚撮りですから結構慎重に被写体を選んで撮っていたように思います。とは云え、遠足の時などは学校に戻ってくると大抵1, 2枚は残ってて、何故か校庭で仲間を撮って帰るのがお決まりになってました。当時の写真も少し残ってますが、なにぶん当人は『撮影する側』ですので、現像から戻った写真を見れば行った場所と友達の写真ばかり… 撮影者が写った写真は殆どない… 『たまには友達にシャッターを押して貰って、自分の写真も撮ってきたら?』と父に何度も云われた記憶もあります。時には同じフジペットを持つ友達から、愛用のフジペットを首から下げ満面の笑みで写ってる自分の写真を貰うこともあり、このカメラには良い思い出が沢山…

私の写真との初めての繋がりが『モノクロの風景撮影』だった為か、今、モノクロで風景撮影をして感じるの『やはりモノクロ写真の世界は落ち着く』と云うこと。当時と唯一違うのは、フィルムの装填→取り出し→現像→プリントまでの全てのプロセスを自分で出来るようになったことでしょうか。フジペットで撮影を楽しんでた当時と比べると、更に多くの楽しみをモノクロ写真は私に与えてくれています。ただ、フジペットで撮影してた小学生の頃の『シャッターを押す時のワクワク感』だけは、今も変わらない写真撮影の最高の一瞬です。

【作例】

今年、奈良県御所市の九品寺の彼岸花を撮った一枚。撮影時にフジSC-60 (R) フィルターを付けて、彼岸花を白く、非現実的な風景が撮れるのを狙った一枚。

モノクロ部会研究会で、オリエンタルのウォームトーン2号印画紙の試し焼きの一枚をスキャンしたもの。花のモノクロ写真のプリントには、ウォームトーン印画紙のセピア色の描写が似合う?

事務局便り

事務局 高田 幸二

【10月研究会の報告】

10月20日 (土) の研究会の参加者は10名でした。2019年出展作品を決める最終月ですが、あまりにも参加者が少ないので不安を感じながらの開催となりました。

【カラーフィルム作品】

大判カメラカラーの作品は、9名分の審査が行われました。その結果、以下の通り10作品が出展作品にノミネートされました。

【モノクロ部門の作品】

モノクロの作品は2名で、以下の2作品がノミネートされました。

【デジタル部門の作品】

デジタルカメラの作品は3名分を審査致しました。審査の結果、以下の4作品がノミネートされました。

10月出展作品審査会での出展候補作品は、以下の通りです。

椋垣会員 : カラー作品1点 (四全倍)

岡村会員 : カラー作品1点

酒井会員 : カラー作品1点、モノクロ1点
デジタル1点

滝澤会員 : カラー作品1点

田中明会員 : カラー作品1点

長谷川会員 : カラー作品1点

秦会員 : カラー作品1点

松原会員 : カラー作品1点

三輪会員 : カラー作品3点

松本会員 : モノクロ作品1点

池村会員 : デジタル作品2点

高田会員 : デジタル作品1点

候補作品の全画像は、当協会のHPにアップされております。下記URLにアクセスの上、確認願います。

URL:<http://lpa-japan.sakura.ne.jp/lpa-06-18-1.html>

すでに展覧作品のデータシートの提出を受けましたが、記入漏れが目立ちます。✓マークの記入漏れ、原版への氏名、題名漏れ、トリミングの指示漏れ等多々あります。データシート提出は記入漏れがないかチェックしてからお願いします。

また展覧費用の質問もありますが10月度のイメージサークルに「2019展会員出展諸費用について」の案内がありますので確認して下さい。

研究会の参加者が少なかったのと審査作品も少なく、今後の写真展運営に不安を感じました。11月24日(土)は差し替え作品の審査を行います。11月25日(日)公募作品審査を行います。多数作品が集まればと期待しています。

11月研究会のお知らせ

研究会担当 松本 憲治

11月の研究会を下記の日程で開催いたしますので、万障繰り合わせの上、参加下さい。

日時：11月24日(土) 13:30～17:00

場所：大阪写真会館 5階会議室

内容：

1. 2019展出展作品確認会

2019展出展作品確認会を中心に行います。フィルム作品の審査と併せて、デジタルカメラで撮影した作品の差替・追加も行います。2019展出展作品は、今月が最終作品確認となります。作品出展される会員は、出展する作品の原版フィルム(又はデジタルカメラ画像をコピーしたUSBメモリー)に出展作品データシートを添え、事務局 高田宛に11月17日(土)迄に到着する様、送付願います。

11月最終出展作品確認会では、作品の追加・差し替えも併せて行います。秋の紅葉撮影シーズンに撮影された作品の追加・差替を希望される方は、同じく11月17日(土)必着で、研究会担当 松本宛に追加・差替を希望す

る作品の原版フィルムと出展作品データシートを送付下さい。

【フィルム作品の追加・差替審査】

フィルム作品の追加・差替を希望される会員は、11月17日(土)必着で原版フィルムと出展作品データシートを送付下さい。

◎フィルムの追加・差替作品の送付先：

〒559-8111 堺市東区日置荘北町147-5
日本大判寫眞家協会 研究会担当 松本憲治 宛

【デジタルカメラ作品の追加差替審査】

デジタルカメラで撮影した作品の追加・差替を希望される会員は、11月17日(土)必着で事務局 高田宛に出展作品データシートを添えて郵送ください。審査用プリントのサイズは、全紙作品はワイド六切、全倍・四全倍作品はA3です。研究会に参加の方は、研究会会場に持参下さい。

◎デジタルカメラ作品の送付先

〒661-0012 尼崎市南塚口町2丁目23-32

日本大判寫眞家協会 事務局 高田幸二 宛

※10月審査会に投影用の画像が間に合わなかった作品があります。これらの作品は、追加・差替作品とともに11月研究会にて審査を行います。

2. その他連絡事項

【モノクロ部会 研究会の日程】

10月モノクロ部会の研究会は、11月11日(日)13:00から『神戸 B&W Lab.』にて開催します。(研究会は毎月第2日曜日の開催)

◎暗室の使用について

研究会当日、暗室は10時には使用出来るように準備します。プリント作業を行う方は、余裕を持って暗室作業が出来るよう午前中に来場下さい。(午後からでは暗室が混み合い、ご希望に添えない場合もあります)

◎2019展出展プリントの制作日程について

2019展出展用全紙(大全紙)プリント制作を開始する時期となりました。出展プリントの制作は、提出期限の2019年1月25日迄に完了戴ければ結構ですが、出来れば1月13日開催の1月研究会までに制作をお願い致します。神戸B&WLab.での全紙(大全紙)プリントの制作は、11月から開始します。出展作品の決

まった方から、順次、プリント作業を行って下さい。全紙（大全紙）プリント制作に際し作業補助が必用な方は、早めに連絡下さい。なお、大全紙（20x24 $\frac{1}{2}$ ）印画紙が必用な方は、1000円/枚（又は10,000円/10枚入）でお分け出来ます。早めに松本宛連絡下さい。

（Ilford Multigrade RC Pearl（半光沢）の10枚入は2箱だけ在庫あり）

『カラーの自家現像』へのお誘い

モノクロ部会員 橋本雅由

モノクロ部会で運営しております『神戸B&W Lab.（ビーワットラボ）』はモノクロ写真用に開設した暗室ですが、暗室開設から一年半が過ぎ、近頃はカラーの自家処理にも取り組んでおります。

カラー処理経験の先輩であるモノクロ部会垣内会員のアドバイスを得ながら、取り敢えずネガカラーのフィルム現像と、カラープリント焼付けに付いては、そこそこの結果を見る所まできております。

次の目標として、ポジカラーフィルムの現像も模索しているところです。ただ、ポジカラーのダイレクトプリントは、ハードルが高いので残念ながら…と言ったところです。

そこで、白黒モノクロ写真はさておいて、カラー写真の自家処理に興味のある方がおられましたら、一緒にやりませんか？

とにかくシャッターボタンを押してお終いではなく、その後の奥深い？プロセスも楽しまないともったいない！… です。

撮影場所の紹介

法起寺のコスモス畑

大阪府堺市在住 松本 憲治

2020展の課題は『花のある風景』です。

「来年用の作品を…」とお考えの方もおられるかと思い、撮影場所を1件ご紹介します。

奈良県生駒郡斑鳩町岡本にある法起寺の周辺は、10月18日現在、コスモスが満開です。

このコスモス畑は、休耕田を利用して栽培する関係で、毎年、花の咲く場所が変わります。今年は法起寺の南側一帯に、創建慶雲3年（西暦706年）の現存最古の三重塔を背景にコスモス畑が広がり、例年に無くアマチュアカメラマンが沢山撮影に来てます。



法起寺の三重塔と手前に広がるコスモス畑

私は専らモノクロでの撮影ですが、カラーでの撮影なら法起寺の三重塔を背景に色とりどりのコスモスの花が咲き乱れている様は、圧巻の風景となるでしょうね。宜しければ一度訪れてみてください。

【法起寺へのアクセス】

西名阪自動車道法隆寺IC→県道5号を北へ→法隆寺東交差点を右折し国道25号へ→中宮寺東交差点を左折し県道9号→約900m先斜め右に法起寺北側駐車スペースへ下る側道

【駐車場】

法起寺の北側に無料の駐車スペースあり
但し昼頃から混雑するので、9時頃までに行くのがお勧めです。